

募 集 要 項

International college of Music Therapy

国際音楽療法専門学院

目 次

	頁
I. 学科・コースについて 学科コースおよび定員	1
II. 入学選考について	2-15
1. 音楽療法学部 音楽療法学科	2
1) 出願書類・出願方法について	2
2) 入学試験について	2-3
2) -1 本学での受験	2
2) -2 ビデオ通話を用いた受験	3
2) -3 結果発表	3
3) 入学手続きについて	3
4) 学費について	4
5) 資格取得について	4
6) カリキュラムについて	4
7) カリキュラム一覧	5-6
2. 1年コース	7-11
1) 受講手続きについて	7
2) 学費について	
3) 資格取得について	
A 音楽スキル プログラム	8
B 実践 プログラム	9
C ステップアップ プログラム	10
D 音・楽トレーナー (Basic)	11
3. オープンシラバス	12-15
III. 奨学金について	16
IV. よくあるご質問	17
V. 各記入用紙	19-23
入学願書 (共通)	19-20
1年コース 受講申込書	21
オープンシラバス 受講科目申込書	22
推薦書	23-24
健康診断書 (本書式以外での提出可能)	25
読替科目申請書	27
提出書類確認表	29
VII. 選考料 / 受講料 振込先	29

I 学科・コースについて

通信での履修、およびスクーリングでの受講となります。

【学科・コースおよび定員】

1. 音楽療法学科	定員	期間	入学資格
一般（基礎）	30名	3年/4年	高卒以上
編入（専門）	30名	2年/3年	音楽（短期）大学等にて 2年以上の（音楽関連科目）履修がある。

- ・ 音楽療法士の資格取得を目指します。入学前までの経験や資格を活かし、最短2年、最長4年間で履修を修了することが可能です。科目読替には、審査が必要です。
- ・ 書類選考、面接、筆記、実技試験あり。

2. 1年コース	定員	期間	入学資格
A 音楽スキルプログラム	10名	1年	高卒以上
B 実践プログラム	10名	1年	高卒以上、書類選考、面接
C ステップアッププログラム	各10名	単発	高卒以上
D 音・楽トレーナー（Basic）	春20名 秋20名	6か月	高卒以上

3. オープンシラバス	定員	期間	入学資格
独自開講科目	20名	1年	高卒以上、書類選考
併修科目	20名	1年	高卒以上、書類選考

- ・ 科目により、履修条件が異なります。ご注意ください。

Ⅲ 入学選考について

1. 音楽療法学部・音楽療法学科

1) 出願書類・出願方法について

(下記、出願書類一覧表にある) 書類を全て、個人情報が含まれている書類のため、追跡のできる簡易書留または、レターパックにて送付して下さい。

本学到着後、提出書類を確認の上、「受験票」をお送りします。

[手順]

願書受付 ⇒ 受験票送付 ⇒ 入試(面接・実技・小論文) ⇒ 結果発表(郵送)

[出願書類 一覧] 頁欄“-”は、用紙の指定はございません。

書類名	頁	
① 入学願書	19-20	
② 卒業証明書/見込	-	最終学歴の卒業証明書/卒業見込証明書
③ 単位取得証明書	-	高校卒業ののち、履修した教育機関において履修科目名、単位数のわかるもの。(高校は、含まない)
④ 健康診断書	25	身長、体重、視力、聴力、身体の運動機能、疾患の有無、胸部レントゲン の項目が含まれる診断書を提出のこと。 出願時より一年以内のものであれば、会社又は学校の健康診断書でも可。※ 指定用紙以外での提出可能
⑤ 推薦書	23-24	推薦入試にて受験される方のみご提出下さい。 a～eのいずれかによる推薦書を提出のこと。 a) 出身校の校長又は担任講師 d) 音楽関係者 b) 職場責任者 e) 自己による推薦書 c) 医療機関・福祉施設等
⑥ 選考料お振込控え	29	選考料 22,000 円 ※振込控え(コピー可)を添付
⑦ 読替科目申請書	27	読替科目の希望がある場合は、ご提出ください

2) 入学試験について

2) -1 **本学にて受験** : 本学にて、筆記、実技、面接を行います。

[選択条件]

指定された時間に本学にて受験可能な方。時間指定は承りかねます。

[選考方法]

書類審査 : 入学願書提出にて選考。

小論文 : 60 分間 (推薦入試は免除)

実技 : 自分の得意な楽器演奏または声楽。選曲は自由 (5 分程度)

- ・使用楽器は入学願書に明記、特殊楽器の場合は持参下さい。
- ・利用できる楽器についてはお問合せ下さい。
- ・声楽での受験は楽譜を持参し、伴奏が必要な場合は楽譜を願書に同封下さい。

[選考会場]

国際音楽療法専門学院

埼玉県川越市富士見町 11-25 Tel. 049-226-3811

最寄り駅 : JR/東武東上線 川越駅

2) -2 **ビデオ通話を用いて受験**：オンラインにて、筆記、実技、面接を行います。

[選択条件]

インターネット環境と本学の指定する方法にて受験環境を整えられる方。

事前に通信状況を事務局にて確認させていただきます。環境設定のサポートは致しませんので、ご自身で設定などに問題のない方に限ります。事前の通話テストに問題があった場合は、2) -1 本学にて受験となりますので、ご注意ください。

[選考方法]

書類審査：入学願書提出にて選考。

小論文：60分間。指定の時間にビデオ通話にて課題を提示、手書きにて時間内に課題を作成。完成した小論文をスキャンしPDFにて、本学指定のメールアドレスへ送付。

実技：オンライン・ビデオ通話にて自分の得意な楽器演奏または声楽。

選曲は自由（5分程度）

- ・使用楽器は入学願書に明記のこと。
- ・声楽の伴奏は、行いません。アカペラもしくは、ご自身で対応下さい。

2) -3 **結果発表**

選考より二週間以内に、本人宛に郵送いたします。

試験後、二週間が経過しても到着しない場合は、お問い合わせ下さい。

3) 入学手続きについて

[入学手続きの手順]

合格通知にて指定した期間内（14日以内）に納入金を納めて下さい。

特別な事情により入学手続きが遅れる場合は、学事課迄ご連絡下さい。

期日を過ぎても入学手続きがなされない場合は、合格が取り消される場合があります。

入学手続き完了後「入学許可証」を郵送いたします。

[保証人について]

- ① 保証人氏名等の届出（連帯保証人の自署、実印の押印、印鑑証明書の提出が必要）
- ② 原則、父または母となります。困難な場合は、成人している親族となります。
- ③ 学費未納金があった場合には、連帯保証人としての責任が生じます。

4) 学費について

【学費等納入金】(初年度 総額、税別)

音楽療法学科	入学金	授業料	スクーリング	合計 (円)
基本	80,000	398,000	-	478,000
推薦入試	※ 30,000	398,000		428,000

※ 推薦入試での合格者は、入学金より 50,000 円免除されます。

オプションの金額一覧

科目種別 (消費税)	授業料
読替 一般 科目 (税別)	1 単位 10,000 円
読替 音楽関連 科目 (税別)	1 単位 20,000 円 ビデオ通話指導付き
スクーリング対象科目 (税別)	履修費用+スクーリング履修費用として 1 科目 5,000 円 例) 編曲法 2 単位を履修する場合
併修科目 (税込)	1 単位 10,000 円 在籍料 10,000 円/年

(入学から卒業までの総額)

音楽療法学科	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	合計 (円)
最小 (税別)	478,000	398,000	-	-	876,000
最大 (税別)	478,000~	398,000~	30,000~	30,000~	~2,051,000

[分納の場合] 入学手続き時に合計金額の 60%程度、8 月 10 日までに残金を納付のこと。

・入学時読替科目がない場合は、卒業までに 2,051,000 円(税込 2,256,100 円)となります。

・各年度の学費は、4 年間で卒業する場合は、平均で(年間学費)約 565,000 円、

3 年間の場合は(年間学費)約 752,000 円となります。

[教育ローンのご利用について]

入学時・在学中の費用に、国民生活金融公庫の教育ローンがご利用できます。

各地の公庫支店又は銀行の窓口で取り扱われており、地域によって手続き方法など異なります。

各自、ご利用窓口にお問合せ下さい。

5) 資格取得について

- ① 音楽療法学部音楽療法学科を修了した場合、下記、資格取得を目指すことができます。必修カリキュラムの単位修得および学内での認定審査を経て、資格の授与となります。

- | |
|-----------------------------------|
| 1) 本学認定「音楽療法士」 |
| 2) 「一般社団法人日本音楽療法学会認定音楽療法士(補)」受験資格 |

6) カリキュラムについて

- ① 履修科目について

卒業までに履修する科目(併修科目含む)は全て必修となります。

他教育機関(音楽大学、音楽短大、一般大学、専門専修学校等)を卒業の場合、審査により履修済み科目の読替および単位の認定が可能となります。

必要提出書類など異なりますので、お問い合わせ下さい。

- ② 併修科目について

本学では、科目の一部を、併修校である中部学院大学にて履修いたします。

- ③ スクーリング

各学年、年に 2~3 回実施。「実技的な学習」や「臨床実習」を行います。

本学までの交通費、宿泊代、実習施設への交通費は別途、自己負担となります

- ④ 海外研修について

在校生、卒業生を対象とした研修です。特別割引料金にて任意での参加が可能です。

[カリキュラム一覧]

ビデオ通話指導サポート付き

ス) スクーリング対象科目 (本学で実施されるスクーリングでの参加履修が必要となります)

網掛け科目 は、基礎、専門1と重複している科目となり(入学)初年度に履修します。

必修科目 1年次 基礎 : 398,000 円 (税別)

科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
*ス) 歌唱伴奏法Ⅰ	1	*音楽療法基礎Ⅰ	2	*音楽療法入門	1
*音楽療法概論	2	*児童音楽療法Ⅰ	1	*精神科音楽療法Ⅰ	2
*音楽療法基礎Ⅱ	2	*児童音楽療法Ⅱ	2		
ス) 和声学	2	ス) 作曲法Ⅰ	1	ス) ソルフェージュ	2
ス) 編曲法	2	ス) 声楽	2	ス) ピアノ	2
ス) 鍵盤和声	1	ス) 器楽Ⅰ	1	ス) 指揮法	2
ス) 合奏	2	ス) 合唱	2		

必修科目 2年次 専門1 : 398,000 円 (税別)

科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
*ス) 歌唱伴奏法Ⅰ	1	*音楽療法基礎Ⅰ	2	*音楽療法入門	1
*音楽療法概論	2	*児童音楽療法Ⅰ	1	*精神科音楽療法Ⅰ	2
*音楽療法基礎Ⅱ	2	*児童音楽療法Ⅱ	2		
英語Ⅲ 原著購読	2	精神科音楽療法Ⅱ	1	児童音楽療法Ⅲ	1
音楽療法基礎Ⅲ	1	高齢者音楽療法	2	介護予防音楽療法	2
ス) 歌唱伴奏法Ⅱ	1	芸術療法概論	1	音響・言語聴覚概論	2
音楽心理学	2	音楽療法の応用	2	ス) 音楽療法の実践	1
ス) 集団音楽療法自己体験トレーニング			0.5	アセスメントと評価	2

必修科目 3年次 専門2 : 398,000 円 (税別)

科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
ス) ワークショップⅠ	1	音楽療法Ⅳ・統計学	1	音楽療法Ⅳ・特論	2
ス) ワークショップⅡ	1	事例検討方法論	2	ス) 論文作成・発表	4
ス) 集団力動	0.5	ス) 臨床実習Ⅰ	5	研究実習	1
ス) 即興演奏	2				

読替可能科目について

[一般科目] 科目履修 1単位 10,000円(税別)

科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
発達心理学Ⅰ	1	発達心理学Ⅱ	1	感覚統合概論	2
英語Ⅰ(外国語科目)	4	英語Ⅱ(外国語科目)	2	老年医学	1

[音楽関連科目] 科目履修 1単位 20,000円(税別)

ビデオ通話指導サポート付き、ス)スクーリング対象科目

科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
音楽理論	2	日本音楽史	2	応用民族音楽学	1
音楽通論	2	日本歌謡史	2	音楽教育学	2

音楽大学・短大卒業者のみ読替(可能)科目。基礎は必須のため読替不可

科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
ス)和声学	2	ス)作曲法Ⅰ	1	ス)ソルフェージュ	2
ス)編曲法	1	ス)声楽	2	ス)ピアノ	2
ス)鍵盤和声	2	ス)器楽Ⅰ	1	ス)作曲法Ⅱ	1
ス)合唱	2	ス)器楽Ⅱ	2	ス)指揮法	2
ス)合奏	2	ス)器楽Ⅲ	1		

[併修科目](中部学院大学) 1単位 10,000円(税込)

科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
障害者の心理	2	臨床心理学	4	医学知識	2
学習心理学	2	カウンセリング論	2	リハビリテーション	2
生理心理学	4	ターミナルケア論	2	社会福祉概論	4
介護概論	2				

本紙記載のカリキュラム一覧は、入学時に科目名称に変更がある場合もあります。

2. 1年コース

最近、音楽を通じて社会貢献をしたいと考えている方々が増えています。音楽のもつ効果、すなわち「音楽の力」について学び、活用するためのプログラムとなっております。福祉、医療、教育分野の関係者、またボランティア従事者や音楽療法士認定資格を目指す方に、『活用したいことをいま学べる』コースとなります。本学における音楽療法に関する専門科目と音楽知識や技術を中心に学び、より専門的な音楽の提供ができる方を養成します。

1) 受講手続きについて（履修期間、申し込み締め切り、受講料）

コース名	履修期間	申込締切（消印有効）
A 音楽スキルプログラム	5月～翌年3月	履修年度 6月20日
B 実践プログラム	5月～翌年3月	履修年度 4月10日
C ステップアッププログラム	5月～翌年3月	一括申込期限：受講年度 5月20日
		各実施日の1ヶ月前
D 音・楽トレーナー	(春)4月～9月	受講年度 4月10日(受付終了)
	(秋)10月～翌年3月	受講年度 10月10日
オプション	ピアノ、弾き語りの(定期的レッスン)を特別料金にて受講できます。	

2) 学費について

1年コース（税別）	授業料	施設費	実習費	スクリーング 他	合計（円）
A 音楽スキルプログラム	130,000	—	—	20,000	150,000
B 実践プログラム	—	8,000	54,000	その他 16,000	70,000
C ステップアッププログラム	5,000～ 20,000	—	—	—	5,000～ 20,000
D 音・楽トレーナー（Basic）	66,000	—	—	—	66,000

※ A および B は、初回受講時に登録料1万円が別途、必要となります。

3) 資格取得について

修了された方には、「履修証明書」が交付されます。

1年コース	取得可能資格
A 音楽スキルプログラム	修了証
B 実践プログラム	履修証明書
C ステップアッププログラム	受講証明書
D 音・楽トレーナー（Basic）	音・楽トレーナー（Basic） 修了試験での合格が必要です

A 音楽スキル

- 【対象者】 福祉、医療、教育分野の関係者、またボランティア従事者等で音楽療法に興味があり、少しずつ学びたい方
- 【スクーリング日程】 10月(日程は別紙)
- 【募集人員】 10名
- 【履修料】 150,000円(税別)

(内訳)	金額
履修基礎科目 費用 (10単位)	100,000円
スクーリング費用	20,000円
実習関連科目	30,000円
音楽スキル 合計	150,000円

受講 組合せ例	受講料(合計)
音楽スキル と 実践	220,000円

♪ カリキュラム

1単位 8コマの学習、レポートの作成・提出(合格が必要)にて履修します。

【基礎科目】

科目名	単位
合奏(ス)	2
指揮法(ス)	2
歌唱伴奏法(ス)	1
音楽療法基礎 I	2
器楽 I	1
音楽通論	1
ワークショップ(ス) 音楽療法士が進行する実践を実習体験	1

【実習関連科目(ス)】

内容
活動の組み立て方、現場における進行のポイント など

※ (ス) スクーリング有り

♪ 履修の流れ

学習方法：オンライン教材の視聴、レポートの提出ならびに年1回のスクーリング

スクーリング：本学がある川越にて、スクーリングにて開催

♪ 修了要件

- ◆ 修了者には、修了証明書を発行します。
- ◆ スクーリング欠席の場合は、翌年の実施に振り替えて、出席が必要となります。

B 実践プログラム

- 【対象者】 実践経験を積みたい方
- 【選考方法】 書類選考および面接
- 【受講方法】 通学
- 【募集人員】 10名
- 【履修料】 70,000円（税別）

(内訳)	金額
実習費 (10回)	54,000円
施設利用費	8,000円
実習備品	8,000円
実践 合計	70,000円

受講 組合せ例	受講料 (合計)
音楽スキルと実践	220,000円
ステップ・アップと実践	90,000円

♪ カリキュラム

- ◆ 実践経験を積みたい方を経験豊富な音楽療法士がサポートします。
- ◆ 音楽スキルやステップアップの講座とあわせて、受講も可能です。

♪ 履修の流れ

- ◆ 実習は本学院提携施設にて実施します。
- ◆ 実習日には川越までお出で頂き、①打ち合わせ、②実践、③振り返り（フィードバック）の作業を通して学びます。
- ◆ 毎回の実習は、記録報告書を提出します。
- ◆ 提出頂いた記録報告書は添削を行い、次の実習につなげていきます。
- ◆ 履修期間中は普段の臨床現場における質問や相談について、対応いたします。

♪ 修了要件

- ◆ 原則、全10回の実習に出席頂きます。
- ◆ 欠席された際の振り替えは原則、行いません。
- ◆ 履修を修了した際は、「実習実績証明書」を発行します。

C ステップアップ

【対象者】 音楽療法カリキュラムを既に履修されている方、または履修された方
音楽療法士（補）資格取得後、認定音楽療法士を目指す方

【募集人員】 10名

【履修料】 一括申込 20,000円（税別） 各回 5,000円（税別）

(内訳)	金額
小論文の書き方 1 講義+メール添削	5,000円
事例レポート相談・添削 メール添削（2回） + 対面指導	5,000円
実技試験のポイント指導 Skype 指導含む	5,000円
模擬面接 Skype 指導含む	5,000円
ステップアップ 合計	20,000円

受講 組合せ例	受講料（合計）
ステップアップ と 実践	90,000円

♪ カリキュラム

- ◆ 音楽療法士認定資格を目指す方が対象です。
- ◆ 資格取得申請に必要なスキルを学びます。
- ◆ 対面・メール・ビデオ通話指導を通して学びます。
- ◆ 講座対面講義に欠席されて場合は、当日の資料をお送りします。
- ◆ 実践プログラム講座とあわせて受講が可能です。

♪ 履修の流れ

- ◆ 学習方法は、本学での対面指導ならびにメール、ビデオ通話指導
- ◆ 各講義のポイントを課題提出と添削を通して学びます。

♪ 修了要件

- ◆ レポート提出および対面指導の振り替えは原則、行いません。
- ◆ 課題提出の締切日は厳守して下さい。
- ◆ 対面指導の他、ビデオ通話での個別指導も可能です。

D 音・楽トレーナー (Basic)

【対象者】 介護予防事業の関係者、ボランティア従事者

【募集人員】 春 20 名 秋 20 名

【履修料】 66,000 円 (税別)

【スクーリング】 (春) 6、8、10 月 (秋) 11、翌年 1、3 月にて実施

[出願書類]

① 入学願書	17-18 頁
② 身分証明書のコピー	各種免許証など、身分を証明できる書類のコピー

1. 選考試験について

[選考方法]

書類審査：受講申請書提出にて選考。

[結果発表]

選考より二週間を目安に、本人宛に郵送いたします。

受付期間終了後、二週間が経過しても到着しない場合は、お問い合わせ下さい。

2. 受講手続きについて

[受講手続の手順]

振込通知書にて指定した期間内 (14 日以内) に納入金を納めて下さい。

特別な事情により入学手続きが遅れる場合は、学事課迄ご連絡下さい。

期日を過ぎても入学手続きがなされない場合は、受講が取り消される場合があります。

受講手続き完了後、受講許可証を郵送いたします

3. 学費について

【学費等納入金】

授業料	スクーリング	合計 (円)
66,000	授業料に含む	66,000

4. 資格取得について

音・楽トレーナー養成講座では、以下の資格取得を目指すことができます。

資格取得には、必修カリキュラムの単位修得と、学内での認定試験を経て、資格の授与となります。

本学認定「^{おと}音・^{らく}楽トレーナー (Basic)」

5. カリキュラムについて

スクーリングは全て参加必須です。やむを得ず欠席した場合、次期講座開講時等にて振替での受講が必要となります。

^{おと}音・^{らく}楽トレーニングは、本学講師である日本音楽療法学会認定音楽療法士、理学療法士、健康運動指導士と連携して開発した介護予防プログラムを半年間で履修します。

DVD教材とスクーリングを通して学びます。最終スクーリングで修了試験を行います。

試験合格後「^{おと}音・^{らく}楽トレーナー (Basic)」認定修了証を発行いたします。

3. オープンシラバス

【対象者】 自分のペースで学びたい方、18歳以上（高卒以上）

【履修期間】

	受付締切日	履修開始	履修期間	修了書送付
オープンシラバス	履修年度8月末日	9月～翌3月末日	9月～翌8月末日	履修開始翌年 9月末日
	履修年度4月末日	5月～翌3月末日	4月～翌3月末日	履修開始翌年 4月末日
オープンシラバス (中部)	履修年度4月末日	5月	5月～翌3月末日	履修開始翌年 4月末日

【登録料】 初めて履修する方は、（初回のみ）登録料として10,000円が必要です。

【履修料】 オープンシラバス 単位数×10,000円（税別）、 オープンシラバス中部（税込）

	金額（1単位あたり）	消費税	合計（1単位あたり）
オープンシラバス	10,000	必要	11,000円
オープンシラバス（中部）	10,000	不要	10,000円

【単位修得】 単位の認定には、課題の提出および合格が必要です。
スクーリング対象科目はスクーリング出席も必須となります。
認定した単位は、本学他コース履修の際に、読替および学費の減免があります。

【開講科目】

オープンシラバス			
科目名 (単位)	音楽心理学 (2)	児童音楽療法 I (1)	※ 鍵盤和声 (1)
	音楽療法概論 (2)	日本歌謡史 (2)	音楽通論 (2)
	音楽理論 (2)	発達心理学 I (1)	※ 作曲法Ⅱ (1)
	音響言語聴覚概論 (1)	発達心理学 II (1)	

※ 履修条件あり[鍵盤和声：音楽基礎知識がある方]、[作曲法Ⅱ：音楽大学・短大卒業者]

中部学院大学 科目履修			
併修 科目	介護概論 (2)	生理心理学 (4)	臨床心理学
	学習心理学 (2)	社会福祉概論 (4)	医学知識 (2)
	カウンセリング論 (2)	障害者の心理 (2)	ターミナルケア論 (2)
	リハビリテーション論 (2)		

オープンシラバス開講科目

【講義概要】

科目名	単位	講師名	履修条件 (空欄は、どなたでも受講可)
音楽心理学	2	-	
音楽に関係する人間の行動と精神活動について、実証的な研究を学習する。様々な事象を取り上げるが、音楽に対する知覚、認知、情動、記憶、能力、情報処理など。さらに、音楽行動、つまり作曲、演奏(表出)、鑑賞(享受)について、究明する。また、音楽聴取による気分変化や、音楽の好みと人間のパーソナリティ、拡大領域として、環境音楽についても学ぶ。			
音楽療法概論	2	-	
音楽療法の定義、歴史、日本の現状、音楽療法の目的と対象者、音楽療法の治療的機能特性をはじめ、音楽療法における様々な理論等を学ぶ。			
音楽理論	2	平野 夏子	
「音楽理論」とは、音楽を言葉を用いて理解してゆく作業である。その中には、音楽通論や作曲法などの実践的な理論の他に、音楽史・音楽社会学・音楽人類学(民族音楽学)・楽器学・音響学・音楽美学・音楽教育学などの幅広い領域が含まれる。この講座では、音楽史を軸として、音楽社会学や人類学、楽器学、音楽美学などについて触れる。			
音響言語聴覚概論	1	三井 実	
音、声、言語、聴覚の基礎。将来を見据えて、科学的発想法を学ぶ講義である。定性的(主観的)考え方でなく、定量的(客観的)な考え方、および、音の高さ、強度等を感覚でなく、機械を用いて測定する方法を学ぶ			
児童音楽療法 I	1	松井 紀和	
児童を対象とした音楽療法を実践する上での基礎的知識を学ぶ			
日本歌謡史	2	平野 夏子	
明治時代から現代に至る日本のポピュラー音楽の変遷について学ぶ。成人や高齢者の現場に欠かせない唱歌・童謡・軍歌・民謡・演歌・歌謡曲などの作詞・作曲者や歌手、時代背景について学ぶと共に、外来音楽の影響や、日本人特有の音感覚についても理解を深める。また、流行歌の持つ社会的機能について考察し、音楽療法における治療的価値について考える為の端緒としたい。			
発達心理学 I	1	増井 紀子	
発達心理学(developmental psychology)とは、受胎から死に至るまでの生体心身の形態、機能の生長・変化、などを解明し、発達法則の樹立を目指す心理学の一分野である。本講義は主にライフサイクルの胎生期、乳幼児期、児童期、学童期、青年期までの各発達段階での心的、社会的、身体的な発達とそのための条件、また発達を阻害する要因や発達障害などについて理解が求められる。			
発達心理学 II	1	増井 紀子	
障害発達心理学の観点から、発達心理学 I に引き続き、青年期以降の人間関係と心理発達をライフステージでとらえ、個人の心理発達と家族の心理発達について述べるほか、障害児の心理発達について、とくに人間関係の発達の視点から述べる。			
鍵盤和声	1	-	履修条件：音楽基礎知識がある方
ポピュラー音楽ならではの楽譜の記譜法や、音名などクラシック音楽との呼称の違い等、基礎知識音の名称、音程、音階、和音、調和の機能、Chord Progression、Tensionなどを学び、基礎的な知識から、コード理論、初期的なコード進行理論を学び、コードネームによるピアノ演奏をするのに必要な知識と、実践を目的とする。			
音楽通論	2	渡邊 えりか	
音楽全般を体系的に学んでいく。記譜する為の知識、また音楽を言葉で説明する為の知識など、欠かすことのできない基礎理論を学習する。さらに、日常に用いる音楽の質を高めていけるよう、技能と知識を習得する。①音楽の基礎 ②音楽のしくみ ③音楽の形式 ④音楽の分類 ⑤音楽の歴史と大別し、問題集と照らし合わせながら行う。			

作曲法Ⅱ	1	天池 穂高	履修条件：音楽大学・短大卒業者のみ
機能と和声を中心とした和声構造のまとめをはじめとして、回を重ねるにしたがい調性の枠をはみ出した内容を持つ音楽についても学ぶ。実際の曲作りそして、その演奏と鑑賞を中心とした講義である。			

【中部学院学院大学 履修（併修）科目】

障害者の心理	2	中部学院大学	
問題行動一色の子はいない。にもかかわらず、大人の私たちがこだわってしまう。障害をもつ子どもたちや青年への働きかけを通して見えてくる内面世界——問題行動の中にひそんでいる本当のねがい。そうした障害者の内面世界を探ることを通して、「人間の」そして「私たち自身」をもとらえ直す一つの機会にしたいものです。言葉だけでなく、具体的な事実や実践を通して、「人間を深く学ぶ」ことができれば、と願っています。			
学習心理学	2	中部学院大学	
学習心理学とは「経験による行動の変容を対象とする学問」と定義される。本講義では、学習心理学の歴史、条件づけ、動機づけ、技能・社会的学習、学習理論について概説する。講義を通して、学習心理学が日常生活のさまざまな場面での行動の基礎となっていることを理解することを目標とする。また、社会福祉士国家試験を念頭においた基礎知識の習得や過去問の取り組みも実施する。			
生理心理学	4	中部学院大学	
こころとは脳の働きであるということは、今や常識として一般に受け入れられるだろう。本講義では、神経系の働きと行動の関連について、ニューロンや脳の構造と機能、近く、学習、記憶、動機づけ、睡眠といった諸行動の生理学的・脳科学的知見について学ぶ。			
カウンセリング論	2	中部学院大学	スクーリングと修了試験のみ
カウンセリングとは 相談のきき方(1)(2) カウンセリング実習(1)(2)、 カウンセリングの実際 (映画を通して)	子どものカウンセリング 大人のカウンセリング カウンセリングの枠組み カウンセリング実習(3)	カウンセリング実習(4) カウンセリング実習(5) 修了試験	
ターミナルケア論	2	中部学院大学	
これまでの福祉の関心は、生きることの援助にむけられてきた。今、市についての援助が求められています。この両者は不可分のものであり、市についての深い認識があって初めて制に関する援助も確固たる根拠を持つことが出来るということです。この科目での学習を通して生の最終章としての死をとらえなおし、福祉とターミナルケアについて考察を深めていただきたいと思います。			
介護概論	2	中部学院大学	
介護の対象である人間への理解を深め、QOL(生活の質)を高める生活支援の補法を探求するために介護の概要を学びます。介護の目的、対象、方法について具体的、実践的に学ぶとともに、介護政策の動向を調べ現在の高齢者介護の問題を直視し、今後どう解消していったらよいかを、総合的に考察するように構成されています。参考文献は介護の方法を具体的に学ぶ実践書です。特に介護のフィールドで実務に就く場合には、介護の方法について理解しておく必要があります。			
社会福祉概論	4	中部学院大学	スクーリング対象
社会福祉概論はそのタイトルの通り、社会福祉全体を概観するという位置づけをもっている。現在の社会制度について、全体像をとらえてもらいたい。生活していくうえでの困難にどのように対応していくのか、家族・市場との政府の役割について、「ニーズ」とそれに対する「資源」の関係について、そして社会福祉政策の課題について、理解をしてもらいたい。			
医学知識	2	中部学院大学	
人間がどのように成長し、発達し、そして老化を迎えるか リハビリテーションと予防医学の実体、健康のとらえ方について			
リハビリテーション論	2	中部学院大学	
全人間的復権の一翼を担う理学療法士にとって、リハビリテーションの理念・思想を理解し、自分自身の考えをまとめ、発表する機会を持たせることは重要である。また、リハビリテーションの歴史、疾患・障害の理解、具体的なリハ			

ハビリテーションの過程、そして関連する多くの専門職や、それらを支える社会保障体制などの学習や高齢者・障害者体験等を通して、リハビリテーション概念の真の理解を深めることが出来る。作業療法士、言語聴覚士など関連職種からの講義も受ける。作業療法士、言語聴覚士の講義においては、グループで討議し発表を行う。また、各自実際に嚙下を行う等の実技が含まれている。また、後半には学生が互いに、障害者や高齢者そして介助者を担当し、道路や階段を移動する実技を取り入れ、学習した知識と実技を統合したアクティブラーニングを行う。それらの講義に自分がいかに積極的に参加できたかを自己評価し、感想および「気づき」をまとめ発表する。運動器疾患、中枢疾患、その他の主たる疾患の医学的側面を講義し、そのリハビリテーションを具体的に示す。

臨床心理学	2	中部学院大学	
この講義では、様々な臨床心理学の基礎理論を学ぶとともに、ライフサイクルにおける問題や心の問題に対して、心理療法やカウンセリングの実践として、どのように対応しているかについても触れることとする。			

IV 奨学金について

[対 象]	音楽療法学部 音楽療法学科 入学希望者 優秀な音楽療法士（下記1）を目指す方
[人 数]	選考により若干名
[選考方法]	書類、小論文、実技試験、面接
[奨 学 金]	給付型 奨学金、審査により5万円、10万円、20万円のいずれかを付与
[期 間]	1年間

1. 本学の考える優秀な音楽療法士とは
優秀な音楽療法士とは、「音楽を愛し、人との関わりによって感性を磨き、音楽療法や対人援助への知識・理解を深めながら、仲間同士が互いに研鑽し合い、実践力を高め合うことができる。また、音楽療法に必要な基本的知識及び技術、複眼的な視点から問題を解決する能力、自身の特性を知り、豊かな人間性及び社会性・協調性を有す、責任感と倫理観、知的探究心、柔軟性と創造性を身に付けた者」
2. 授与と返還について
給付された奨学金は原則的に返還の負担はございません。
ただし、進級・卒業が困難となった場合、出席不足などにより著しく学業に支障をきたし、奨学生として不適切と判断された場合には、返還が必要となります。
3. 選考方法について
書類審査ののち、本学より面接時間を通知いたします。（補欠・オンライン入試を除く）入学試験と同日に面談・実技試験を行い、選考結果を本人に通知いたします。

【実技試験内容】

ソナチネアルバムより第一楽章のみピアノ演奏、ならびに自由曲の弾き歌い 計2曲
（楽譜持ち込み可とする）

4. 奨学金給付までの手続きについて
本学より授与決定通知を受け取った者は、入学手続きと同時に本学の指示に従い、誓約書等の必要書類の提出を行います。
5. 奨学生に採用され、給付を受けている間の注意事項について
常に奨学生としての自覚を持ち勉学に励んで下さい。在学中は、本学の奨学金担当者（学部長）と連絡を緊密にとり、奨学金に関する本学からの呼び出しには必ず応じてください。

V よくあるご質問

- Q1 試験やレポートが不合格になった場合は、どうなりますか？**
各科目履修猶予期間を含め2年間となります。最短1年で履修完了となります。履修期間内で習得できなかった場合は、再履修費用が発生します。
- Q2 海外研修の費用は、いくらですか？**
200,000円前後を予定しております。
- Q3 どんな先生に教えていただけますか？**
医療・福祉・各専門分野の講師による講義を受講できます。一般社団法人日本音楽療法学会認定の音楽療法士も多数在籍しており、臨床実習の指導も充実しています。
- Q4 特徴は、何ですか？**
充実した臨床実習と、ビデオ通話指導を含めた学習サポート他、多彩な講師陣より幅広く学べます。
- Q5 就職先は、どんなところがありますか？**
音楽療法士として常勤・非常勤問わず病院・施設、提携社団法人などへの就職しています。また、他業種への就職実績があります。
- Q6 説明会の日程全て都合が悪いのですが、どうしたらよいですか？**
個別に説明会も行っておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。
- Q7 中部学院大学も同時に卒業になるのですか？**
単位数が足りない為、卒業にはなりません。本学卒業後に中部学院大学卒業を目指す場合には優遇措置があります。
- Q8 ダブルスクールは可能ですか？**
可能です。
- Q11 学費の分納はできますか？**
前納、後納の二回、特別な事情がある場合は、ご相談下さい。本学学費は、全て通年での講義管理となる為、途中退学などの場合も全額納付義務があります。
- Q12 2020年度のスクーリングの日程は、いつですか？**
例年12月ごろに、翌年の日程が確定いたします。
受講する科目に予定り、参加必須の日程は、異なります。

学 年	日 程		
音楽基礎科目	4月	10月	2月
併修科目	(カウンセリング論) 6月、(臨床心理学) 8月、(社会福祉概論) 10月、(修了試験) 8月、10月、12月、2月		
スクーリング 実施日	4月	6月	8月
	10月	11月	2月
1年コース	別紙参照		
ステップアップ	別紙参照		
音・楽トレーナー	別紙参照		

VI 国際音楽療法専門学院

入学願書

入試希望日	※事務
第一希望： /	
第二希望： /	

【申込コース】 希望に○をお付け下さい

コース等		希望に○	カラー写真 (4cm×3cm) 上半身 正面 脱帽 3ヶ月以内
1. 音楽療法学部	対面受験		
	奨学金希望 (対面受験者のみ)		
	オンライン受験		
2. 1年コース	A 音楽スキルプログラム		
	B 実践プログラム		
	C ステップアッププログラム		
	D 音・楽トレーナー (Basic)		
3. オープンシラバス	-		

氏名	(ふりがな)	性別
		男 ・ 女
生年月日	西暦 年 月 日 (歳)	
現住所	(ふりがな)	
	〒 - 都道府県	
電話番号	(自宅) - -	
	(携帯電話) - -	
Eメール アドレス	@	

最終学歴	年 月 卒・見込・中退 (○印) 学校名・学部・学科・専攻を明記の事
職業 勤務先 /学校名	会社名
	住所
	職種
ピアノ歴	なし ・ ある () 年 得意な曲 ()
保護者	18歳以下の方の申し込みには保護者による署名、押印が必要です 保護者氏名 (印)
実技試験 (1. 音楽療法学部 のみ記入)	どちらかに○をし、2. 楽器の方は、使用楽器を記入下さい。 1. 声楽 (楽譜) 伴奏の必要 (有 ・ 無) 2. 楽器 使用楽器 ()

氏名 _____

在籍状況	本学入学時及び在籍（予定）期間中に、教育機関に・・・ [] 所属あり 該当に○ [] 所属なし		
学歴 (高校以降)	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
職歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
音楽経験	年 月		
	年 月		
	年 月		
資格 ・ 免許 ・ 学位	取得年月	名 称	取 得 機 関
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
志 望 動 機			

	発表年月	内容	発表期間
研究論文	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		

申込日： 年 月 日

1年コース 受講申込書

氏名 _____

申込○	講座名	受講料	小計	※事務
	A 音楽スキルプログラム	150,000		
	B 実践プログラム	70,000		
	ステップアップ (一括申込)	20,000		
	C ステップアップ (各回 5,000 円)	5,000×()講座		
	D 音・楽トレーナー (basic)	66,000		
	オプション希望 後日日程など決定	3,000×()回		
		小計		
		消費税(小計×10%)		
		合計		

各申込プログラムの必要事項のみご記入下さい

A) 音楽スキルプログラム

現在の音楽活動などの状況

B ステップアップ プログラム

講座内容		希望する科目 <input checked="" type="checkbox"/>
小論文の書き方	1 講義+メール添削	<input type="checkbox"/>
事例レポート相談・添削	メール添削 (2回) + 対面指導	<input type="checkbox"/>
実技試験のポイント指導	ビデオ通話指導含む	<input type="checkbox"/>
模擬面接	ビデオ通話指導含む	<input type="checkbox"/>

オープンシラバス 受講科目申込書

氏 名 _____

申込 ○		受講料	小計	※事務
	初回登録料	11,000 円		
	①オープンシラバス (単位)	単位 × 11,000 円		
	②併修科目 (単位)	単位 × 10,000 円		
	併修科目履修希望者は、在籍料	10,000 円		
	オプション希望	後日決定		
		合計		

オープンシラバス 科目

希望する科目の左側 に、

① オープンシラバス			
科目名 (単位)	<input type="checkbox"/> 音楽心理学 (2)	<input type="checkbox"/> 児童音楽療法 I (1)	<input type="checkbox"/> ※ 鍵盤和声 (1)
	<input type="checkbox"/> 音楽療法概論 (2)	<input type="checkbox"/> 日本歌謡史 (2)	<input type="checkbox"/> 音楽通論 (2)
	<input type="checkbox"/> 音楽理論 (2)	<input type="checkbox"/> 発達心理学 I (1)	<input type="checkbox"/> ※ 作曲法Ⅱ (1)
	<input type="checkbox"/> 音響言語聴覚概論 (1)	<input type="checkbox"/> 発達心理学 II (1)	

※ 履修条件あり[鍵盤和声：音楽基礎知識がある方]、[作曲法Ⅱ：音楽大学・短大卒業者]

② オープンシラバス 併修科目 (中部学院大学に同時在籍)			
科目名 (単位)	<input type="checkbox"/> 介護概論	<input type="checkbox"/> 生理心理学	<input type="checkbox"/> 臨床心理学
	<input type="checkbox"/> 学習心理学	<input type="checkbox"/> 社会福祉概論	<input type="checkbox"/> 医学知識
	<input type="checkbox"/> カウンセリング論	<input type="checkbox"/> 障害者の心理	<input type="checkbox"/> ターミナルケア論
	<input type="checkbox"/> リハビリテーション論		

※ 併修科目履修希望者は、別途在籍料 10,000 円が必要となります。

推 薦 書

年 月 日

国際音楽療法専門学院
学院長殿

推薦者（自己は※記入不要）

※氏名

印

※推薦者の職業等

※職場等住所

下記の者を、貴学の入学者として適当と認め、推薦いたします。

受験者 氏名	(男 ・ 女)
所属	

※裏面記入または別紙添付の事

推薦文

(Area with horizontal dashed lines for writing)

提出先：國際音樂療法專門学院

健康診断書

出願時より一年以内で下記項目が含まれている勤務先等の健康診断書の提出可。
用紙の指定はありません。本用紙もしくは、診断先の書式での提出を可とします。

氏名	(ふりがな)	
生年月日		
身長、体重	c m	k g
視力	右	左
聴力	右	左
身体の運動機能		
疾患の有無		
胸部レントゲン		
特記事項	(有 ・ 無) ※有の場合は下記にご記入下さい	

上記の結果より

異常なし 経過観察 要精密検査 要治療

と認めます。

年 月 日

検査機関名

住所・電話番号

医師

Ⓜ

読替科目申請書

氏名 _____

入学願書提出時に申請できる科目は、同科目名および単位数のもののみとなります。類似した科目名の科目については、入学確定後に講義概要の提出と教務の審査によって認められる場合もあります。

種別	科目名	単位	修得機関名	科目名(単位)	備考	読替有無
音楽	音楽理論	2				
音楽	音楽通論(音楽基礎では、音楽基礎講座)	2				
音楽	和声学	2				
音楽	日本音楽史	2				
音楽	日本歌謡史	2				
音楽	編曲法	2				
音楽	鍵盤和声	1				
音楽	ソルフェージュ	2				
音楽	ピアノ	2				
音楽	作曲法Ⅱ	1				
音楽	指揮法	2				
音楽	作曲法Ⅰ	1				
音楽	声楽	2				
音楽	ス)器楽Ⅰ	1				
音楽	ス)器楽Ⅱ	2				
音楽	ス)器楽Ⅲ	1				
音楽	ス)合唱	2				
音楽	ス)合奏	2				
音楽	応用民族音楽学	1				
音楽	音楽教育学	2				
一般	発達心理学Ⅰ	1				
一般	発達心理学Ⅱ	1				
一般	感覚統合概論	2				
一般	老年医学	1				
一般	英語Ⅰ ※他言語でも可	4				
一般	英語Ⅱ ※他言語でも可	2				
併修	障害者の心理	2				
併修	学習心理学	2				
併修	生理心理学	4				
併修	介護概論	2				
併修	臨床心理学	4				
併修	カウンセリング論	2				
併修	ターミナルケア論	2				
併修	社会福祉概論	4				
併修	医学知識	2				
併修	リハビリテーション	2				

V 提出書類確認表

必要書類を揃え、簡易書留または、レターパックにて送付して下さい。

氏名 _____

音楽療法学部 音楽療法学科 同封書類に○		
①	入学願書	本冊子 19-20 頁
②	卒業証明書/見込	最終学歴の卒業証明書/卒業見込証明書
③	単位取得証明書	科目の一部履修免除を希望する場合、必要となります。
④	健康診断書	本冊子 25 頁
⑤	推薦書	本冊子 23-24 頁
⑥	選考料お振込控え	選考料 22,000 円 振込控え (コピー可) を添付
⑦	読替科目申請書	本冊子 27 頁 編入希望、および読替希望科目がある場合
⑧	提出書類確認表	本ページ

1年コース 同封書類に○		
①	入学願書	本冊子 19-20 頁
②	1年コース受講申込書	本冊子 21 頁
③	受講料 お振込控え	振込控え (コピー可) を添付

オープンシラバス 同封書類に○		
①	入学願書	本冊子 19-20 頁
②	オープンシラバス受講科目申込書	本冊子 22 頁
③	受講料 お振込控え	振込控え (コピー可) を添付

VI 選考料 / 受講料 振込先

[選考料 振込先口座]

三菱UFJ銀行 川越支店 普通 0116899 国際音楽療法専門学校

※ 受験者のお名前でお振込下さい。

※ お振込後に入試辞退等の場合、ご返金は承れませんのでご注意下さい。

振込用紙 貼付欄

振込用紙の控 (コピー可) を こちらに貼って送付下さい

音楽療法学部 音楽療法学科 受験料 (22,000 円)

オープンシラバス他 受講料

[提出先] キリトリ封筒に貼ってお使い下さい。

〒350-0033

埼玉県川越市富士見町 11-25

国際音楽療法専門学校 入試課

国際音楽療法専門学院

〒350-0033 埼玉県川越市富士見町 11-25
Tel 049-226-3811 Fax 049-226-9011